

SYGN HOUSE B+COM ONE

Bluetooth



ユーザーズマニュアル

24.03



WARNING

運転中は安全運転を最優先として
B+COM をご使用ください。

はじめに

サインハウス「B+COM(ビーコム) ONE」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
B+COM ONE はデジタル無線技術「Bluetooth5.0」を採用しています。キットをヘルメットに装着して、携帯電話でのハンズフリー通話、ミュージックプレーヤーの音楽やポータブルナビなどの音声のリスニング、タンデムライダーやペアライダーとの会話を外部に配線を引くことなくワイヤレスで快適に楽しめる、新しいコミュニケーションツールです。本製品を安全に、良好な状態で、未永くお使いいただくために、ご使用前に本ユーザーズマニュアルを必ずお読み下さい。ユーザーズマニュアルは保証書も兼ねておりますので、大切に保管して下さい。

ご注意

- ・本ユーザーズマニュアルに記載されている内容を無断転載することは禁止されております。
- ・製品の仕様、ならびに本ユーザーズマニュアルの内容は、予告なしに変更することがあります。
- ・本ユーザーズマニュアルの内容に関してご不明な点などがございましたら、弊社 WEB サイト (sygnhouse.jp) をご覧いただくか、「保証書」に記載されている連絡先までお問い合わせください。
- ・「Bluetooth」は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、サインハウスはライセンスに基づいて使用しています。
- ・本製品は電波法に適合する工事設計認証を取得し、日本国内での使用許可を得ています。
※海外では、国により電波使用制限が異なるため、本製品を使用する場合は現地の規定をご確認ください。

目次

操作早見表

簡易マニュアルとしても使える操作マニュアル一覧表

1. はじめに

主な特長／重要なお知らせ／安全に正しく
お使いいただくために／各パーツの名称と
はたらき／充電方法／電源を入れる／切る

2. B+COM同士の接続・通話

ONE/SB6X同士で話す(初期登録、通話)
SB5X/4X/EVOと話す(初期登録、通話)
他社インカムと話す(初期登録、通話)

3. デバイスの接続・聴き取り

デバイスと接続する(初期登録)／携帯電話を操作す
る／音楽を聴く／ナビ音声(レーダー警告音)を聴く
／B+COMオーディオシェアの始め方

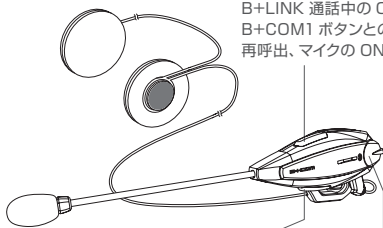
4. その他

通話接続例／設定・登録情報をリセットする
／ソフトウェアをアップデートする／仕様
／こんなときは／保証書

操作早見表

B+COM 1 (B1)ボタン

B+LINK のペアリングと呼出 (1+2 ボタン)、B+LINK 通話中の ON/OFF、SB4X/5X の B+COM1 ボタンとのペアリングおよび切断 / 再呼出、マイクの ON/OFF 操作に使用します。



ボリュームダイヤル

電源の ON/OFF、音量の調整 (15 段階)、音楽再生時の曲のスキップ / 頭出し操作時に使用します。

B+COM 2 (B2)ボタン

B+LINK のペアリングと呼出 (1+2 ボタン)、SB4X/5X の B+COM2 ボタンとのペアリングおよび切断 / 再呼出、電池残量確認時に使用します。

デバイスボタン

電源の ON/OFF、携帯電話やハンズフリー機器とのペアリング、携帯電話の発着信、通話の終了の操作時に使用します。

電源

機能	操作方法	備考
電源ON	デバイスボタンを押しながらボリュームダイヤルを上1秒間回す	LED 青1秒間点灯
電源OFF	デバイスボタンを押しながらボリュームダイヤルを下1秒間回す	LED 赤1秒間点灯
電池残量の確認	B2 ボタンを2回クリック	4段階表示 LED 青1秒間点灯……80% 紫1秒間点灯……50% 赤1秒間点灯……30% 赤2回点滅………要充電
ALLリセット	電源OFF状態で、デバイスボタン+ B1 + B2 を同時に3秒間長押し	全ての登録情報を消去 LED 紫1秒間点灯

ペアリング

※ペアリング時は他 Bluetooth は OFF にする

機能	操作方法	備考
デバイス①	電源OFFの状態から、デバイスボタンを押しながらボリュームダイヤルを上1秒間回す	LED 青点灯→青+赤高速点滅→青点滅 ●デバイスのBluetoothはONにしておく ●PINコード要入力「0000」
デバイス②	デバイス①の状態からデバイスボタンを2回クリック	LED 青+赤高速点滅→緑+赤高速点滅→青点滅
B+LINK (SB6X/ONE)	電源ONの状態から、B1 + B2 を同時に3秒間長押し →誰か1人がB1 + B2 を同時に1クリック	デバイス①②は接続したままでもOK LED 緑高速点滅→緑点灯→緑点滅
1人目のSB5X/4Xと接続	B2 ボタンを3秒間長押し →SB5X/4Xの操作で接続を待つ (ユニバーサルインターコールのペアリング方法で操作)	LED 赤高速点滅→青点滅
2人目のSB5X/4Xと接続	B1 ボタンを3秒間長押し →SB5X/4Xの操作で接続を待つ (ユニバーサルインターコールのペアリング方法で操作)	LED 赤高速点滅→青点滅

デバイス操作

機能	操作方法	備考
コネクト (デバイスの接続)	<B+COM電源“OFF”状態から> →デバイスのBluetoothをON →B+COMの電源ON→自動接続 <B+COM電源“ON”状態から> →デバイスボタンを押したままボリュームダイヤルを上1秒間	電源起動時は、登録済みデバイスへ自動で接続を行う「オートコネクト」機能を搭載 デバイス操作での接続を行う場合は、登録機器リストからONEを選択 (B+COMの電源ON状態で行う)
音量調整 (15段階)	ボリュームダイヤルを回す (音量UP：上へ回す) (音量DOWN：下へ回す)	デバイス①②それぞれ個別に音量調節可 ※音が出力されている状態で操作
音楽プレーヤー 曲の再生/ 一時停止	デバイスボタンを1クリック毎に、再生、一時停止の繰り返し	A2DP接続時、AVRCP機能対応機器のみ ※B+COMデュアルトランスミッターでは、この操作でミュート/再出力
音楽プレーヤー 曲のスキップ	ボリュームダイヤルを上1秒間回す	
音楽プレーヤー 曲の頭出し	ボリュームダイヤルを下1秒間回す	
携帯電話 着信応答	着信音出力後、デバイスボタンを1クリック	
携帯電話 終話	携帯電話通話中、デバイスボタンを1クリックまたは通話相手による終話操作	
携帯電話 リダイヤル発信	デバイスボタンを3秒間長押し	デバイス2接続では発信できない インカム通話中は発信できない
音声認識起動	デバイスボタンを2回クリック	Siri、Googleアシスタントへ対応 ※機器により非対応
デバイス 登録情報の消去	電源ON状態で、デバイスボタン+B1+B2を同時に3秒間長押し →デバイスボタンを1クリック	LED 紫点灯→青点滅→消灯

インカム操作

機能	操作方法	備考
B+LINK接続	誰か1人がB1+B2を同時に1クリック	B+LINKペアリング済みの全員が電源ONならこの操作だけで全員に繋がる
B+LINK 接続中の 通話ON/OFF	B1ボタンを1クリック毎に、通話ON、OFFの繰り返し	B+LINKの接続は切れずに、通話機能だけON/OFFされる ※操作をした自分だけが通話OFF状態
B+LINK切断	B1+B2を同時に1クリック	B+LINK通話接続を完全に切断する場合に使用する
B+COM1 通話接続	ペアリングしたSB5X/4X側からの呼出で接続を開始する	距離が離れて切断した場合は、SB5X/4X側からの再接続が必要
B+COM1 接続中の 通話ON/OFF	B1ボタンを1クリック	B+COM1の接続は切れずに、1クリック毎に通話状態がON、OFFされる
B+COM2 通話接続	ペアリングしたSB5X/4X側からの呼出で接続を開始する	距離が離れて切断した場合は、SB5X/4X側からの再接続が必要
B+COM2 接続中の 通話ON/OFF	B2ボタンを1回クリック	B+COM2の接続は切れずに、1クリック毎に通話状態がON、OFFされる
マイクOFF	インカム通話中にB1ボタンを2回クリック	30秒毎に「マイクOFF」の音声アナウンスが流れる
インカム 登録情報の消去	電源ON状態で、デバイスボタン+B1+B2を同時に3秒間長押し →B1+B2押下→B+LINK登録消去 →B1orB2押下→B1&B2登録消去	LED 紫点灯→緑点滅→消灯 (B+LINK) LED 紫点灯→赤点滅→消灯 (B+COM1、B+COM2)

主な特長

みんなで一発ペアリング、かんたんグループトーク！

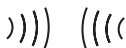
ONE/SB6X専用

「B+LINK」通話機能搭載



スマホの音楽、ラジオ、ナビ音声が良い音で聴ける！

大容量D級アンプ +高音質スピーカー採用！



- ・音楽プレーヤー
- ・ラジオアプリ
- ・カーナビアプリ
- ・ハンズフリー通話も可能！

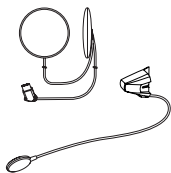


重要なお知らせ

**保証書(本書裏ページ)が無い場合は、
いかなる理由でも保証対象外です!**

本体ユニット以外は 消耗品になります

マイクやスピーカーなどは消耗品の
ため、過度な使用や過度な応力に
よる破損・断線、経年劣化等の場合
は、オプションのスペアパーツをご
購入ください。

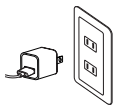


※保証期間内にて、通常使用での不具合(過度な使用、過度な応力による破損等以外の不具合)については、保証対象となる場合がありますので、サポートにお問い合わせください。

バッテリーの劣化に ご注意ください

電池残量が低下したまま保管すると、内
蔵バッテリーが短期間で劣化して使用で
きなくなります。使用后、保管前には必
ず充電し、長期保管する場合は定期的な
充電(月1回程度)をしてください。

充電式



本製品は水中使用は 保証しておりません!

本製品の本体部は防水構造となっており
高い防水保護性能を有しています。
しかし、マイクやスピーカーは防水仕様
ではありません。オートバイ用のヘル
メットへ正しく装着してオートバイ走行環境での使用の
み防水性が発揮されます。また雨天走行後は、本体の
水分を拭き取り、マイクやスピーカー、本体のコネクタ
の水分を拭き取ってください。濡れたまま放置すると端
子部が錆びて充電や音声が入り正しく機能しなくなる恐れ
があります。



本製品およびヘルメット取り扱い、 大切に、そして慎重にやさしく!

ヘルメットは安全を守る大切なギ
アです。そのヘルメットに装着して
使用する事を想定して設計されて
おり、強い衝撃や無理な力での取
り扱いに耐えうる強度は有しており
ません。大切に请使用ください。

※マイクの扱いもやさしく!



1.はじめに

2. B+COM 同士の
接続・通話

3. テバイスの
接続・聞き取り

4. その他

安全に正しくお使いいただ

- B+COM ONE は精密部品で構成された電子機器です。ご使用になる前に、この「使用上の注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- ユーザーズマニュアルには、お使いになるあなたや、他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全なご使用のために守っていただきたい事項を記載しています。
- お子様がお使いになる場合は、保護者などの大人がユーザーズマニュアルをよくお読みになり、安全で正しい使い方をご指導下さい。
- オートバイ運転中の携帯電話や通信機等の使用に関しては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。
- オートバイ運転中に本製品を使用する場合、自己責任で安全運転を心掛けてください。
- 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解の上、本文をお読み下さい。

危険

指示に従わない場合、
死亡または重大な傷害に至ることを示します。

警告

指示に従わない場合、
死亡または重大な傷害に至る可能性があることを示します。

注意

指示に従わない場合、
傷害に至る可能性があることを示します。

<使用上の注意>

警告

- 大音量で聴きながらの運転は危険です。運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となります。また、音に集中すると運転意識の低下につながり、重大な事故の原因となります。
- 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所に避難して下さい。落雷や感電に見舞われる恐れがあります。
- 医療機器などの近くでは電源を切して下さい。Bluetooth の電波は微弱ですが、医療向け計測器、心臓ペースメーカーなどの近くでは使用を控えて下さい。それら機器をお使いの場合は、機器製造メーカーや販売店に電波による影響についてをご確認下さい。
- 飛行機の中では使用しないで下さい。電波が影響を及ぼし、事故の原因になる恐れがあります。

危険

- 分解、改造、修理をしないで下さい。本製品の発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となり、ケガをする恐れがあります。
- 水がかかる場所への放置、または水没させないで下さい。本製品は防水仕様ですが、長時間にわたり水がかかる環境下での使用は想定しておりません。また、本体が濡れた状態や濡れた手でマイクパーツや USB ジャック接続パーツの着脱を行わないでください。発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- 高温多湿になる場所、熱器具の近くでの充電、放置は避けて下さい。発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。
- 異常状態のまま使い続けしないで下さい。発煙や焦げ臭いなどの異常を放置して使用すると、発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。ただちに使用を中止して、販売店に検査及び修理の依頼をして下さい。
- ボリューム設定に気を付けて下さい。突然の大音量、継続的な大音量は鼓膜の損傷や難聴の原因となります。
- 自動ドアなどの近くでは使用しないで下さい。自動ドアや火災報知器の自動制御装置が誤作動する恐れがあります。
- 気温の低い場所から、屋内などへ移動した場合、本体内に結露が発生することがあり、そのまま使用を続けたり、充電をすると発熱、破裂、発火、故障の原因となります。

< 電池に関するご注意 >

⚠ 警告

- バッテリーパックから漏れた液が目や肌に付着した時は、こすらずに清潔な水で洗い流して下さい。洗い流した後は、早急に眼科や皮膚科などの医師の診断を受けて下さい。漏れた液が本体内部に残っていることがあるので、お買い上げの販売店にご相談下さい。
 - 家庭用コンセントからの充電の際は指定の AC アダプターを使用して下さい。推奨以外※の AC アダプターを使用すると、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。
※ PSE マーク付きの市販 USB チャージャー
定格：DC5V-0.6A 以上 1.0A 以下
 - AC アダプターを使用する場合、指定以外の電源、電圧で充電しないで下さい。交流 100V-240V 以外の電源、電圧で充電すると火災や故障の原因となります。
 - 長期間使用しない時は充電ケーブルを本体ユニットから抜いて下さい。差したままの充電状態で放置すると、発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- 充電時には接続端子にゴミや汚れ、水分などが付いていないか確認してください。

⚠ 注意

USB ジャックに金属片を接触させないで下さい。内蔵バッテリーがショートして発熱、破裂、発火する恐れがあります。

● Bluetooth について



Bluetoothとは短距離デジタル無線通信方式の世界標準規格です。携帯電話、パソコン、パソコン周辺機器、ゲーム機、家電製品など、Bluetooth機能を持つ機器同士を無線で接続し、音声やデータのやり取りが可能です。

Bluetoothを使えばケーブルを使わずスッキリ手軽にワイヤレスでの接続ができます。さらに機器との間に障害物があっても通信できるので、一方の機器をバッグやポケットの中に入れて使うこともできます。Bluetooth機能を備えた機器は増え続けており、ジャンルを超えた接続が可能になっています。

(接続するには双方のBluetooth機器に同一のプロファイルが実装されている必要があります)

※Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、プログラミングされた機能が再現できない場合があります。

● 使用する電波について

本製品は電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局無線設備として工事設計認証を受けています。日本国内で本製品を使用する際に無線局の免許は不要です。

機器名：B+COM ONE

※海外では、国により電波使用制限が異なるため、本製品を使用する場合は現地の規定をご確認ください。

B+COM ONEは2.4GHz帯の電波を使用しています。この周波数帯では他の無線機器も電波を発信しています。電波干渉を防ぐため、近くで以下の機器や無線局が使用されていないかを確認し、電波干渉が起こった場合は速やかに使用を止めるか、場所を変えて使用して下さい。

- 電子レンジや心臓ペースメーカーなどの産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ラインなどで使用される免許を必要とする移動体識別用構内無線局
- 免許を必要としない特定小電力無線局
- アマチュア無線局
- IEEE802.11g/b規格の無線LAN機器

各パーツの名称とはたらき

①スピーカー固定用面ファスナー

スピーカーをヘルメットに固定します。外面が接着シート、内面がファスナーなので、スピーカーの位置調整が簡単です。必要に応じて間に調整パッドを入れてください。

②スピーカー固定用調整パッド

ヘルメットのイヤークリップが深い等の場合は、パッドで調整してください。

③ワイヤークリップ

ワイヤークリップでヘルメット帽体へ挟み込んで固定する際に使用します。

④保護ラバー

ワイヤークリップでヘルメット帽体へ挟み込んで固定する際に使用します。

⑤面ファスナー

ベースプレートを貼り付けに取り付ける際に使用します。ワイヤークリップ使用時は使用しません。

⑥ベースプレート

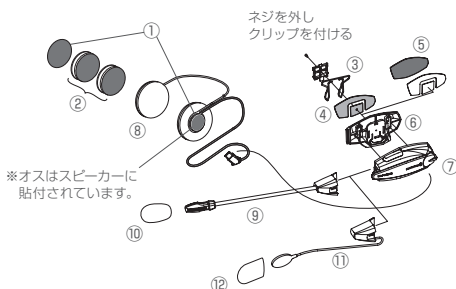
面ファスナーでヘルメットに貼り付けるか、ワイヤークリップを取り付けてヘルメット帽体へ挟み込んで取り付けるベースです。

⑦本体ユニット

フェイスプレートはオプション(別売)で好みのカラーに着せ替えが可能です。

⑧ヘルメットスピーカーR/L

径40mm、厚み10.8mmの薄型、高音質ステレオスピーカーです。



アームマイク UNIT 同梱品

⑨アームマイク

スポーツジェットタイプ、ジェットタイプにおすすめです。

⑩アームマイク用スポンジ

マイクに被せる事で物理的に風切り音を軽減します。必ず使用してください。

ワイヤーマイク UNIT 同梱品

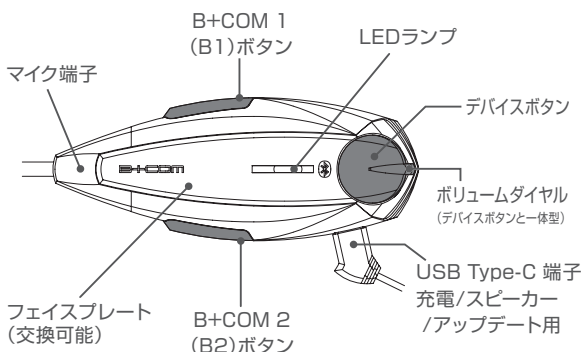
⑪ワイヤーマイク

フルフェイスやシステムヘルメットに最適なマイクです。システムタイプ(フリップアップ)、スポーツジェットタイプの一部ではチークパッド内に仕込むことで快適な使用感が得られます。口元にゆとりが無いフルフェイスの場合もチークパッド内に仕込むのも有効です。

⑫ワイヤーマイク用スポンジ

フルフェイスの口元にマイクを設置する場合は必ず使用します。スポンジを口元に貼り付け、スポンジのポケットにマイクを挿入する事で物理的に風切り音を軽減します。

本体ユニット各部の名称

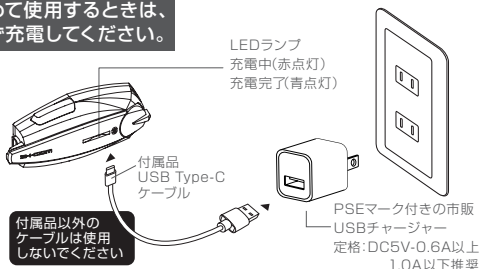


充電方法

B+COM ONEは内蔵バッテリーで作動します。本体ユニットと付属のUSB Type-Cケーブル、充電用ACアダプターをつなぎ、コンセントに接続してください。

※本製品には、充電用ACアダプターは同梱されておりません。
PSEマークの付いた市販のUSBチャージャーをご使用ください。

初めて使用するときは、
必ず充電してください。



⚠ 充電前に端子部の水分、ゴミ、汚れ等を必ず除去してください。
水分が付着した際は、乾燥するまでケーブルを挿入しないでください。

⚠ 本体のUSB Type-C 端子へ挿入する際は、無理な力を掛けずに、正しく確実に挿入してください。

⚠ 使用後は必ず充電してから保管してください。
長期保管時は、1ヶ月に1回程度は追充電を行ってください。

ツーリングなど使用後はバッテリー残量が少なくなっています。残量が少ない状態での保管は短期間でバッテリー性能の劣化につながります。
使用後は「充電してから保管」の徹底をお願いします。

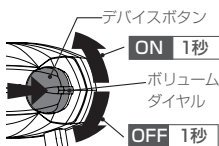
電源を入れる／切る

● 電源ON

デバイスボタンを押しながら、
1秒間ボリュームダイヤルを上に戻す

● 電源OFF

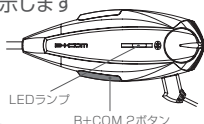
デバイスボタンを押しながら、
1秒間ボリュームダイヤルを下に戻す



◎電源ON時、バッテリー残量を表示します

電池の残量は、LEDランプの表示パターンおよび音声によって確認できます。

- 電源をON時
- B+COM 2ボタンを2回クリック



LEDランプ	音声	状態
青1秒間点灯	電池残量80%以上	良好です。 そのまま使用可能です。
紫1秒間点灯	電池残量50%以上	直ちに充電が必要な状態ではありません。
赤1秒間点灯	電池残量30%未満 充電してください	まもなく充電が必要な状態ですが使用可能です。
赤2回点滅	バーボー(ピーブ音) 充電してください	充電が必要な状態です。 充電してからご使用ください。 ※定期的に出力し続けます

1. はじめに

2. B+COM 同士の
接続・通話

3. デバイスの
接続・聞き取り

4. その他

ONE / SB6X 同士で話す B+LINK登録 (ペアリング) 編

定義:B+COM同士で話すインカム通話=B+COM通話

通話機能、「B+LINK」(ビーリンク)

ONEは、集まったら、みんなで同時にペアリングするだけで、かんたんにグループトークが始まる。「B+LINK」(ビーリンク)通話機能を搭載。ONEを装着したヘルメットを被ったまま、集まって、同時にペアリングアクションをするだけ。グループペアリングに要する時間はわずか30秒。

グループトークを始めるのもかんたん。グループの誰かが1つの操作をするだけで、すぐにグループトークが始められます。電源を入れていれば、仲間から自動でグループに招待されます。さらに、離れて通信が切れても、近くのB+LINK仲間を自動で探します。

<B+COM通話をするための初期登録(ペアリング)をする>

ONE / SB6Xを最大6台までまとめて一回でペアリングすることが可能です。一度、このペアリングを行えば、登録情報はメモリーされ、通話の度にこの操作を行う必要はありません。ただし、違うメンバーとペアリングを行った場合は、新たなメンバーでペアリングをし直す必要があります。

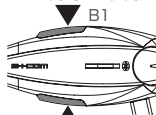
① ONE 全機の操作

【電源ON】



【ペアリングモード】

B1+B2同時に3秒間長押し

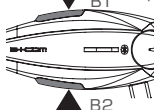


LED 緑高速点滅

サウンド 「B+LINKグループ登録」

② いずれか1台のみ操作

同時に1クリック



LED 緑点灯

サウンド 「サーチ開始」

③ 接続を待つ

②の操作をしたONE

B、C、Dは、②の操作をしたAから順番に接続されるのを待つだけ



LED 緑フェード点滅



サウンド 「B+LINK開始」



ポイント スマートフォンやナビ等を接続したまま行うことが可能です。混雑しているパーキングなどでは登録できない場合があります(混雑していない別の場所で行ってください)。

ONE / SB6X 同士で話す 登録後の B+LINK 通話編

1. はじめに

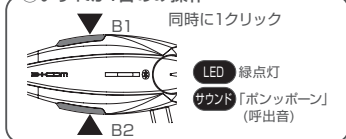
2. B+COM 同士の
接続・通話

3. テパイクスの
接続・聞き取り

4. その他

<ペアリング済みのONE/SB6X同士で通話を始める>

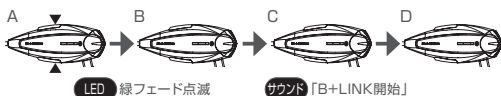
①いずれか1台のみ操作



②接続を待つ

①の操作をしたONE

B、C、Dは、①の操作をしたAから順番に接続されるのを待つだけ



ONE / SB6X同士のB+LINK通話機能は、距離等で離れて通信状態が悪くなった場合でも、接続可能な他のONEを自動で探し続けます。その際、20秒間に1回「ボンッポン」というピープ音でお知らせします。

<グループの接続を保ったまま通話をOFFにする>

B+LINK通話中
B1ボタンを
1クリック

サウンド
「トークOFF」

再度、1クリックすると
通話に戻ります

サウンド
「トークON」

<強制的にB+LINK登録全員を呼び出しをする>

B+LINKグループの仲間の状態に関わらず、強制的にグループ一斉呼び出しを行います。

※「トークOFF」の相手は強制的に「トークON」へ切り替わります。

B+LINK通話中
B1ボタンを
1秒間長押し

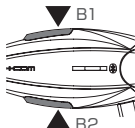
サウンド
「B+LINK開始」

<"B+LINK"通話の接続を完全に切断する>

<"B+LINK"自動接続をキャンセル/再接続する>

B+LINK接続中または、
自動接続要求中
B1+B2同時に1クリック

サウンド
「B+LINK終了」(通話中)
「キャンセル」(自動接続要求中)



再度、B1+B2同時に
1クリックすることで
B+LINKに再接続可
能です。



明らかに通信状態が良いと思われる距離に戻った場合でも、接続までに時間が掛ったり、自動で接続できない場合がございます。その際は、B+LINK通話の自動接続をキャンセルして、再度B+LINK通話接続操作を行ってください。

B+COM SB5X/4Xや、 他社インカムと話す 初期登録(ペアリング)編

◎他社インカムとの接続は、動作・通話品質の保証は致しかねます

ONEとSB5X、SB4X/Lite、SB213.EVO、および他社インカムと通話する場合は、2つの「ユニバーサルインターコール」機能のどちらかでペアリングを行います。

■『ユニバーサルインターコール・レシーブ』機能

ユニバーサル通話機能を持つ、SB5X、SB4X/Liteや他社インカムと通話する場合に使用します。

これらのペアリング相手機器側は、ユニバーサル通話機能のペアリング方法でONEとペアリングを行います。

■『ユニバーサルインターコール』機能

ユニバーサル通話機能を持たない、SB213.EVOや他社インカム、およびハンズフリーヘッドセットと通話する場合に使用します。

これらのペアリング相手機器側は、携帯電話とペアリングする方法でONEとペアリングを行います。



☞ スマホ用アプリ「B+COM U モバイルAPP」もしくは、Windows/パソコン用アプリ「B+COM U」で機能をONにします。
また、SB5Xと接続する際は、この機能をONにしないでください。

ポイント！

ONEとペアリングする相手が、ユニバーサル通話機能があるか、無いかで、ONEのペアリング操作手順が1つ違うだけ！

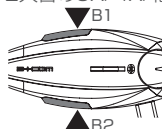
<SB5Xや他社インカムとペアリング(初期登録)する>

◎B1またはB2ボタンを使用して
1人ずつ行います。

◎B+LINK通話と組み合わせる場合は、必ずB2ボタンに登録します。

☞ 以下アップデートを行ってください。
・SB5X → V1.5以降
・SB4X/Lite → V2.0以降 (モードB設定推奨)

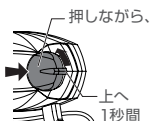
2人目の5X/4X/他



1人目の5X/4X/他

① ONEの操作

【電源ON】



【ペアリングモード】

B2(またはB1)を3秒間長押し



LED 赤高速点滅

サウンド 「B+COM2ペアリング」

☞ つづき P.13



<SB5Xや他社インカムとペアリング(初期登録)する> (つづき)

- ・SB5X (V1.5以降)
- ・SB4X/Lite (V2.0以降)
- ・ユニバーサル通話機能を持つ他社インカム

ユニバーサルインターコール
・レシーブでペアリング

② SB5X/4Xの操作 (5X/4X側の“ユニバーサルインターコール”機能のペアリング手順)

【SB5X, SB4X (V2.3~) の場合】

電源ON状態



3秒間長押しを2回

LED 赤高速点滅 → 青中速点滅

【SB4X (V2.0~V2.2) の場合】

電源ON状態



6秒間長押し

LED 青中速点滅

【他社インカムの場合】

他社インカム起点のユニバーサル接続機能のペアリング操作を行ってください。

- ・SB213.EVO
- ・市販のハンズフリーヘッドホン
- ・ユニバーサル通話機能を持たない他社インカム

ユニバーサルインターコール
でペアリング

B+COM U で機能をON
にしておく必要があります。

② SB213.EVOの操作 (携帯電話とのペアリング手順)

【SB213.EVOの場合】

電源OFF状態から



メインボタン
5秒間長押し

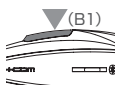
LED 赤+青高速点滅

【他社インカムの場合】

携帯電話とペアリングする
操作を行ってください。

③ ONEの操作

B2(またはB1)
を1クリック
※②の操作を
したボタン



LED 赤点灯

サウンド 「サーチ開始」

③ ONEの表示

自動で会話が
始まれば完了



④ ONEの表示

LED 青フェード点滅

サウンド 「B+COM2接続」

◎B1およびB2ボタンの両方に5X/4X, 213.EVOまたは他社インカムを登録後、2台とも接続して運用する場合は、B+LINK通話機能は使用できません。

◎B+LINK登録情報が存在する場合、B1ボタンへの登録はできません。登録される場合は、B+LINK登録情報の消去を行ってからペアリングを行ってください。

◎ペアリングが完了しても会話ができない場合、いずれかの機器にて応答操作が必要な場合がございます。

👉 便利な「リセットモード」→P.25

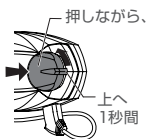
B+COM SB5X/4Xや、 他社インカムと話す 登録後の通話編

◎他社インカムとの接続は、動作・通話品質の保証は致しかねます

<ペアリング済みのSB5X、SB4X/Liteと接続して通話する>

ユニバーサルインターコール・レシーブ
でペアリングした相手との通話

① ONEの操作 【電源をONにする】

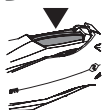


② 接続は必ずSB5X/4X側から

SB5X/4Xの操作

ONEとペアリングした
ボタンを押す

距離が離れて切断した
場合も同様です。



【他社インカムの場合】

必ず他社インカム側から接続操作を行ってください。
(距離等で切断した場合も同様です)

③ ONEの表示

自動で通話が始めれば完了

LED

青フェード点滅

サウンド

「B+COM2接続」

<ペアリング済みのSB213.EVOと接続して通話する>

ユニバーサルインターコール
でペアリングした相手との通話

① SB213.EVOの操作

【SB213.EVOの場合】

電源ONにする



LED

青点滅

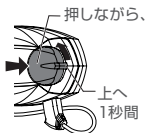
【他社インカムの場合】

電源ONにする



ONEとユニバーサルインターコールで接続・通話を行う場合、これらの
製品はスマートフォン等のデバイスを同時に接続しないでください。

② ONEの操作 【電源をONにする】



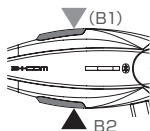
③ 接続は必ずONE側から

ONEの操作

ペアリングしたB2(または
B1)ボタンを1クリック

サウンド 「ブボ、ブボ…」

距離が離れて切断した場合も同様です。



③ ONEの表示

自動で通話が始めれば完了

LED

青フェード点滅

サウンド

「B+COM2接続」

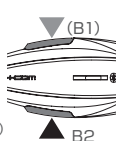
<接続後の通話のON/OFF>

① OFFにする

ペアリングした
B2(またはB1)
ボタンを通話
中に1クリック

サウンド

「ピー」(ピーブ音)

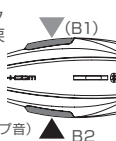


② ONにする

再度、1クリック
すると通話に戻
ります

サウンド

「ポポポポ」(ピーブ音)



<B+LINK接続とSB5X/4Xを混合して通話する>

① SB5X/4X の操作

ONEとペアリング
したボタン
を押す



② ONE の表示

通話開通を確認

LED

青フェード点滅

サウンド

「B+COM2接続」

③ ONEの操作 いずれか1台

B1+B2
同時に
1クリック



④ 接続を待つ

③の操作をしたONE

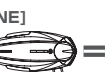
[ONE]



LED

緑フェード点滅

[ONE]



サウンド

「B+LINK開始」

①で5X/4Xと接続したONE

[ONE]



[5X/4X/他社]



B+COM、他社インカムとの接続例はこちら P.24

インカム通話中の マイクOFF機能

<ONEインカム通話中のマイクOFF機能>

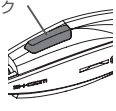
ONEは、B+LINK通話やB+COM通話のマイクをOFFにする機能があります。声は出さないようにしたいが相手の会話は聞けるようにしておきたい場合、以下の操作でマイクをOFF/ONすることが可能です。

マイクOFFにする

通話中にB1ボタン
を2回クリック

サウンド

「マイクOFF」

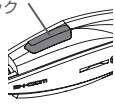


マイクONにする

マイクOFF中にB1ボタン
を2回クリック

サウンド

「マイクON」



デバイスと接続する(初期登録)

<B+COMとデバイス機器とペアリングする前の基本情報>

B+COM ONEで各デバイス(スマートフォン、音楽プレーヤー、ナビゲーションなど)とBluetooth通信をするためには、最初にペアリング(初期登録)を行う必要があります。デバイスの種類が違って、ONE側のペアリング操作方法は同じです。



<デバイス割り込みアシスト機能>

ONEは、2台のデバイスを接続して快適にご使用頂ける機能として「デバイス割り込みアシスト機能」を設けました。

2つのデバイスを同時に接続して使用する際には、以下の通り接続するデバイスを「デバイス1」または「デバイス2」どちらで接続するかプランを決めて、それぞれペアリング(登録)を行ってください。

デバイス1へ登録して接続 (AVRCP対応)

スタンダードなデバイス接続機能。

デバイス1接続に最適な機器:

- ・1台目の携帯電話用(リダイヤル発信操作/着信応答)
- ・スマートフォン(音楽、ナビ、ラジオ、電話通話、Siri)
- ・音楽プレーヤー(AVRCP搭載機はリモコン操作可能)
- ・オーディオトランスミッター
- ・A2DP出力バイクナビ/レーダー
- ・八重洲無線 FTM-10S、VX-8D

デバイス2へ登録して接続 (A2DP優先割り込み)

デバイス1接続よりも優先してA2DP音声を出力します。
ただし、ONE側からリモコン操作、リダイヤル発信操作ができません。

デバイス2接続に最適な機器:

- ・2台目の携帯電話用(着信応答のみ)
- ・スマートフォン(ナビアプリ、着信応答のみ)
- ・HFP/HSP出力のバイクナビ/レーダー



以下の条件に該当する場合、デバイス2と接続できません。

① B+LINKのペアリング情報がある場合

② ユニバーサル接続をしている場合 ※

※接続していなければデバイス2と接続が可能です。



ペアリング情報のリセット→P.25



デバイス1とデバイス2に接続したA2DPの音声を同時に聴くことはできません。

以下の機器はデバイス2への接続は推奨できません。(常に音声通信で占有されます)

- ・オーディオプレーヤー(iPod、ウォークマン等)
- ・トランスミッター(Dual TX、および他社製品)
- ・Yupiteru MCNシリーズ、BNV-1、Z320B
- ・X-RIDEシリーズ
- ・八重洲無線 FTM-10S、VX-8D

<B+COMとデバイス機器とペアリングする>

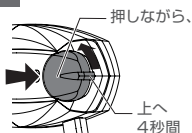
【デバイス1へ登録する場合】

① ONEの操作

電源OFFを確認。電源がONの場合は電源OFFにしてください。

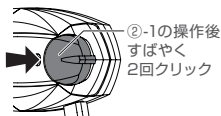
② ONEの操作

②-1



LED 青+赤高速点滅
サウンド 「B+COM起動」
「デバイス1ペアリング」

②-2 デバイス2へ登録する場合



LED 緑+赤高速点滅
サウンド 「デバイス2ペアリング」

③ デバイス機器の操作

デバイス側のBluetoothをONにして、ペアリング操作を行ってください。

セルフネーム機能



登録可能な機器リストから ONE を選択



「接続済み」等の表示で完了です。

PINコードが必要な場合:0000



スマホ用アプリ「B+COM U モバイルAPP」もしくは、Windowsパソコン用アプリ「B+COM U」で、デバイスに表示される名前を任意に変更できます。

④ ONEの表示

LED 青フェード点滅

サウンド 「デバイス1接続」

◎一度ペアリングを行うと、デバイス情報が登録されます
デバイスの登録情報は本体メモリーに保存されるため、電源のON/OFFを行うたびにペアリング操作の必要はありません。

◎以下の場合、再度ペアリングを行ってください

- ・ALL リセットまたは、デバイス情報消去を行った場合
- ・メモリー上限数 4 台を超えた古い登録のデバイス
(メモリー上限数:デバイス1 = 4 台、デバイス2 = 4 台)
- ・デバイス側で ONE の登録情報を消去した場合
- ・ONE またはデバイスのアップデートを行った場合

◎登録したデバイスの組み合わせによっては、2台同時に使用できない場合があります。



接続機器の機種およびOSバージョンにより、チャンネルの切り替えや、音声認識などで動作不安定になる場合があります。

登録済みデバイスと接続する

! デバイス1、およびデバイス2に登録したデバイスを接続して使用できる台数は、**それぞれ1台ずつ**(合わせて2台)となります。

<オートコネクトで接続する>

ONEは、電源起動後の数秒間、登録済みデバイスを自動で探して接続を行います。

👉 未登録のデバイスと接続する→P.16～17

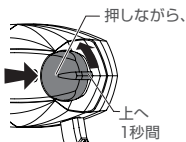
① デバイス機器の操作

デバイス1と2にペアリング済みのデバイスの電源を入れるか、BluetoothをONにします。



② ONEの操作

B+COMの電源を起動するとオートコネクトにより、登録済みのデバイスを探し自動で接続を行います。



LED 青 フェード点滅※
サウンド 「B+COM起動」→「ボンッポーン」(サーチ音) → 「デバイス1接続」

※デバイス検索中は「青2回点滅(繰り返し)」

<マニュアルコネクトで接続する>

ONEは、電源起動後にオートコネクトの接続ができなかった場合、以下の操作を行う事で登録済みのデバイスを自動で探して接続を行います。

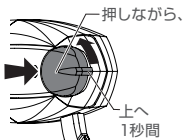
① デバイス機器の操作

デバイス1と2にペアリング済みのデバイスの電源を入れるか、BluetoothをONにします。



② ONEの操作

電源ON状態で右の操作を行うとコネクトサーチが数秒間行われます。



LED 青 フェード点滅
サウンド 「ボンッポーン」(サーチ音) 「デバイス1接続」

<デバイス側操作で接続する>

B+COM側からの接続を受け付けないデバイスの場合や、デバイス側操作で接続したい場合は、以下の方法でデバイスから接続を行ってください。

① ONEの状態

電源ON状態。
電源起動後のオートコネクトサーチが終了した状態。

LED 青 点滅

② デバイス機器の操作

デバイス側のBluetoothをONにして、登録済み機器リストからONEを選択



③ ONEの表示

LED 青 フェード点滅

サウンド 「デバイス1接続」

! デバイス機器の組み合わせにより2台同時に繋がらない場合は、1台ずつ接続を行ってください。

携帯電話を操作する

1. はじめに

2. B+COM 同士の 接続・通話

3. デバイスの 接続・聞き取り

4. その他

<ハンズフリーで電話をする>

ONEは、登録済みの携帯電話と接続することでワイヤレスで携帯電話のハンズフリー機能が使用可能です。

☞ 未登録のデバイスと接続する→P.16～17

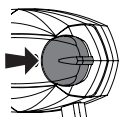
着信応答／拒否

デバイス1、2に接続した携帯電話

着信音が鳴ったら

デバイスボタン

1クリック
で通話開始
2回クリック
で着信拒否



サウンド 着信音送出

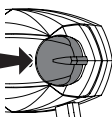
リダイヤル発信

デバイス1に接続した携帯電話のみ

インカム通話中は、通話を
OFFにしてから

デバイスボタン

3秒間
長押し



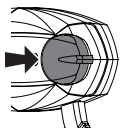
サウンド リダイヤル

終話

通話相手が切るか

デバイスボタン

1クリック
で終話



サウンド 「ピー」(ピープ音送出)

◎インカム通話中にハンズフリーで電話通話をした場合、インカム通話の接続は切断されます。

◎携帯の通話中は、インカム通話の音も聞こえず、電話で話している声もみんなに聞こえることはありません。

◎また、携帯の通話が終わるとB+LINKへ自動接続を行います。

<音声認識(Siri、Googleアシスタント)の起動>

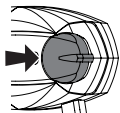
Siri、Googleアシスタント起動

デバイス1に接続した携帯電話のみ

インカム通話中は通話をOFFしてから

デバイスボタン

2回
クリック



サウンド 携帯電話側の音声認識の開始音を送出

◎音量が小さい場合はボリュームダイヤルで音量を上げてください。

◎開始音が鳴るまで数秒間時間を要します。開始音になるまで操作をしないで待ちます。

※「Hey Siri」「OK, Google」の発話による起動はできません。

※iOS、AndroidのバージョンUPにより起動できなくなる可能性があります。

※Googleアシスタントは機器により非対応となります。

音楽を聴く

<B+COMで音楽を聴く>

ONEは、登録済みのスマートフォンや音楽プレーヤーなどと接続することで高音質のステレオサウンドをワイヤレスで楽しめます。

☞ 未登録のデバイスと接続する→P.16～17
登録済みのデバイスと接続する→P.18

① デバイス機器の操作

デバイス機器側で音楽などを再生します。

スマートフォンはアプリを開いて音楽やラジオを再生します。



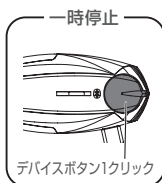
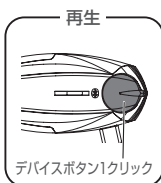
<アプリ例>

- ・音楽プレーヤー
- ・ラジオアプリ (radiko.jp等)
- ・Podcast
- ・その他音声コンテンツ

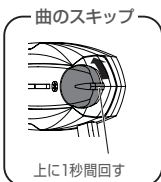
② ONEの操作

デバイス側で音楽などを再生すると、B+COMのスピーカーから音声が出されます。音楽再生中は以下の操作が可能です。

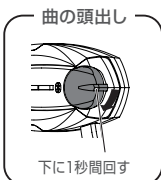
※ 1
再生／一時停止
デバイスボタンを1クリック



※ 2
曲のスキップ
ボリュームダイヤルを上1秒間回す



※ 2
曲の頭出し
ボリュームダイヤルを下1秒間回す



※ 1. 別売の DUAL トランスミッター等や、AVRCP 非対応デバイスは、音声出力がミュート／再出力されるだけで、プレーヤー側は再生されたままとなります。

※ 2. AVRCP (リモコン機能) 対応デバイスのみ操作可能です。
一部の SONY WALKMAN、Garmin 製ナビは非対応となっております。

ナビ音声(レーダー警告音)を聴く

1.はじめに

<B+COMでナビ/レーダーの音声案内を聴く>

ONEは、登録済みのバイクナビ、バイクレーダーやスマートフォンのナビアプリの音声案内をワイヤレスで聴取可能です。

☞ 未登録のデバイスと接続する→P.16~17
登録済みのデバイスと接続する→P.18

① デバイス機器の操作

バイクナビやバイクレーダーの音声案内を開始します。

スマートフォンはナビアプリを起動して音声案内を開始します。



2. B+COM 同士の
接続・通話

② ONEの操作

デバイス側でナビの音声案内などを開始すると、B+COMのスピーカーから音声が出力されます。ナビの音声出力のプロファイルによって、聴こえ方が異なります。



A2DPのナビ

[音声再生プロファイル]

(音楽プレーヤー、スマートフォンのアプリなどの音声出力と同じ)

携帯電話着信時:ナビ音声が出力を停止し電話の着信音に切り替わります。

A2DPのナビ、レーダーの場合、音楽プレーヤーとの同時接続はできません。どちらか1台の接続になります。
音楽を聴きながらナビの音声聴きたい場合、ナビに音楽を入れてナビ側のプレーヤーで再生してください。



HSP/HFPのナビ

[ハンズフリー/ヘッドセットプロファイル]

(携帯電話、スマートフォンなどのハンズフリー通話と同じ出力)

音楽再生時:音楽が一時停止してナビ音声が出力

(音楽再生に自動で戻ります*)

※自動で再生しない場合はB+COM側で再生操作を試みてください。



HSP/HFP 出力のナビ、レーダーの場合、携帯電話やスマートフォンとの併用は動作不安定になることがあります。

3. デバイスの
接続・聞き取り

4. その他

タンデムで同じ音楽を聴く 「B+COMオーディオシェア」 タンデムモード（ステレオ音声）

B+COM ONEは、自分が聴いている音楽などを共有して聴ける「B+COMオーディオシェア」を搭載。

B+LINK通話と切り替えてタンデムで高音質のステレオサウンドを聴くことができます。

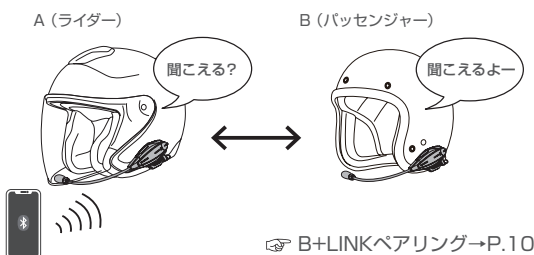
＜オーディオシェア“タンデムモード”の始め方＞

① A（ライダー）で音声を再生する



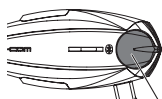
接続したスマートフォンや音楽プレーヤーで音楽やラジオを再生します。

② A（ライダー）とB（パッセンジャー）でB+LINKを開始



シェアを開始できるのはB+LINKペアリングの際、サーチ開始操作した側となります。
ペアリングの際は、シェアする2人だけで行ってください。
ここでは、A（ライダー）がサーチ開始操作をした場合の説明です。

③ A（ライダー）の操作



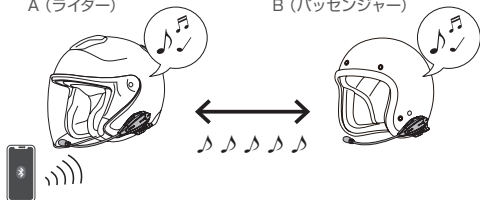
サウンド 「シェア開始」→「B+LINK終了」

<オーディオシェア“タンデムモード”の始め方> (つづき)

④ A (ライダー)の音が B (パッセンジャー)から流れる

A (ライダー)

B (パッセンジャー)



どちらのB+COMからでも、曲の一時停止やスキップなどのリモコン操作が可能となります。

<B+LINKとオーディオシェアの切り替え>

A (ライダー)、B (パッセンジャー)どちらも操作可能

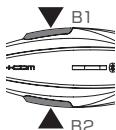
① B+LINKへ切り替え

B1+B2

同時に1クリック

サウンド

「B+LINK開始」



② オーディオシェアへ切り替え

デバイスボタン

1クリック

サウンド

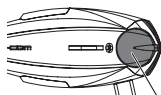
「B+LINK終了」



<オーディオシェアの終了>

A (ライダー)、B (パッセンジャー)どちらも操作可能

ONEの操作



デバイスボタンを1.5秒間長押し

サウンド 「シェア終了」

⚠ 3人以上のグループではシェアされる相手が特定できないため、タンデムモードはご使用いただけません。

⚠ タンデムモード中はB+COM同士の最大通信距離が短くなるため、ライダー同士ではご使用いただけません。

⚠ B+LINKとタンデムモードの同時使用はできません。切り替えてご使用いただく必要がございます。

オーディオシェアの音量について

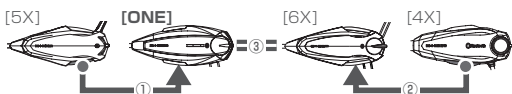
A(ライダー)、B(パッセンジャー)それぞれ個別でボリュームダイヤルによる音量調節が可能です。お好みで適正なボリュームへ調整してください。

B+COM や、他社インカムとの通話接続例

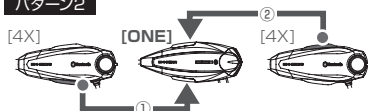
<ONE, SB6X, SB5X, 4X/Lite混合での通話接続例>

矢印の方向から、①→②→③の順で接続

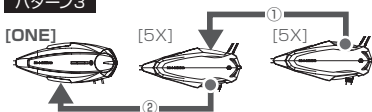
パターン1



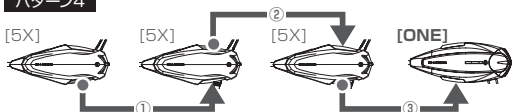
パターン2



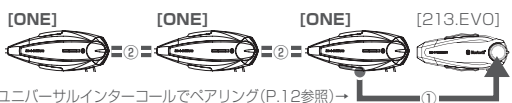
パターン3



パターン4



パターン5

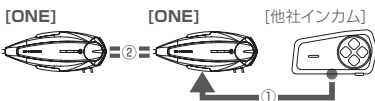


ユニバーサルインターコールでペアリング(P.12参照)→

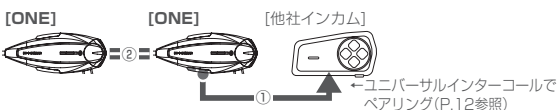
<他社インカム混合での通話接続例>

矢印の方向から、①→②→③の順で接続

パターン1 ユニバーサル通話機能を持つ他社インカム



パターン2 ユニバーサル通話機能を持たない他社インカム



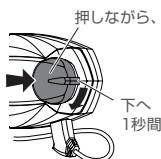
←ユニバーサルインターコールでペアリング(P.12参照)

設定・登録情報をリセットする

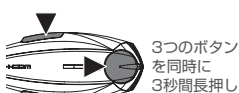
適正な操作を行ってもペアリングがうまくできない、ボタンを押しても反応しないなど、正しく動作しない場合は、リセット作業を行い、B+COM ONEを初期状態に戻してください。

<ALLリセット (全ての登録情報の初期化)>

① 電源OFF



② リセット操作

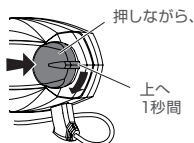


LED 紫 1秒間点灯

サウンド 「オールリセット完了」

<便利な「リセットモード」(登録情報を指定して消去)>

① 電源ON

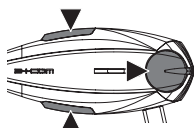


② スタンバイモード

登録済みのデバイス機器との接続の有無は問わない

LED 青点滅

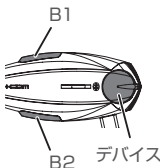
③ リセットモード



LED 紫点灯

サウンド 「リセットモード消去したいボタンを押して下さい」

④ リセット選択



○B+LINK登録情報を消去

B1+B2
ボタン押下 ▶ **LED** 緑2回点滅→消灯
サウンド 「B+LINK消去」

○B1とB2のインカム登録情報を消去

B1 or B2
ボタン押下 ▶ **LED** 赤2回点滅→消灯
サウンド 「ユニバーサル消去」

○デバイス登録情報を消去

デバイス
ボタン押下 ▶ **LED** 青2回点滅→消灯
サウンド 「デバイス消去」

○リセットモードをキャンセル

ボリューム
上 or 下へ ▶ **LED** 青点滅
サウンド 「キャンセル」

ソフトウェアをアップデートする



B+COM アップデートソフト『B+COM U』

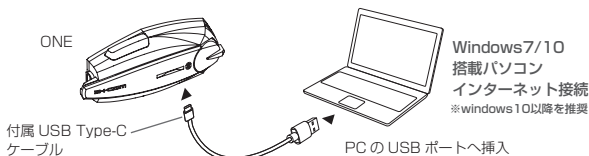
B+COM U (ビーコム・ユー) は、ONE/SB6X に対応するアップデート用ユーティリティアプリケーションです。
B+COM U を、Windows パソコンへインストールすることで、ONE を最新プログラムにアップデートすることが可能となります。
B+COM U は、一度パソコンへインストールすれば、起動するだけで常に最新の状態が保たれます。

B+COM U ダウンロードページ：

sygnhouse.jp ▶ サポート ▶ ソフトウェアアップデート ▶ ONE

アップデートの流れ

- ①弊社ウェブサイトからB+COM Uをダウンロード
- ②B+COM Uをパソコンへインストール
※上記①・②は、一度パソコンへインストール済みの場合は不要
- ③インストールしたB+COM Uを起動する
インターネットより最新プログラムが自動ダウンロードされる
- ④ONEを付属USB Type-Cケーブルでパソコンへ接続
- ⑤B+COM Uの画面から最新プログラムを適用する



※全ての接続機器に最適化されたアップデートを行う想定はありません。
またプログラム開発に時間を要する場合がございます。

※スマートフォンのアップデートを実施した場合、登録情報のリセット、再ペアリングを行って下さい。

ONE 仕様

■ 本体仕様

※本仕様は予告無く変更する場合があります。

Bluetooth Ver.	： Bluetooth 5.0
チップ	： シングルチップ
出力レンジ	： Class1
バッテリー	： Li-Po 3.7V 650mAh
充電時間	： 約 2 時間 (USB Type-C DC5V) ※急速充電には対応していません。
端子	： USB Type-C (充電、スピーカー)
本体サイズ	： W94.8 × H42.1 × D23.2
本体重量	： 43g
防水性能	： IP67 相当
保証期間	： ご購入日から 1 年間

■ オーディオ/インカム仕様

対応プロファイル	： HSP, HFP, A2DP, AVRCP
スピーカー	： 外形 Φ 40 x D11mm ： ネオジウムマグネット ： 16 Ωインピーダンス ： USB Type-C プラグ
連続使用時間	： インカム通話 最大約 18 時間 ： 携帯通話、音楽再生 最大約 20 時間 ： (それぞれ単体での稼働の場合)
最大通話可能人数	： 6 人
グループ通話方式	： B+LINK
ユニバーサル通話	： 対応

Bluetooth®はBluetooth SIG, Inc. の商標であり、弊社はライセンスに基づき使用しています。

こんなときは

下記のような場合は、ユーザーズマニュアル、クイックマニュアルをもう一度ご確認ください。それでも解決しないときは、弊社WEBサイト (sygnhouse.jp) 内、「B+COM FAQ」をご覧ください。保証書に記載されている連絡先までお問い合わせください。



FAQはこちら

B+COM ONEが携帯電話とうまく連動しない・・・

- ・本機の電源がONになっているかを確認してください。
- ・バッテリーが十分に充電されているか確認してください。
- ・携帯電話が通話可能かどうかを確認してください。
- ・携帯電話のBluetooth機能がONになっているかを確認してください。
- ・本機と携帯電話のペアリング(初期登録)が正常に完了しているか確認してください。
- ・本機をリセットしてから携帯電話の再起動を行い、取扱説明書を参照してペアリングをやり直してください。
- ・docomo系はBluetoothメニュー内の着信音送出設定を「送らない」に設定されているか確認してください。
- ・au系は本機と接続時、電話機は「接続待ち」にしてから本機のデバイスコネクト操作を行い接続してください。

通話相手にこちらの声が聞こえない・・・

- ・本体にマイクパーツが確実に取り付けられているかを確認してください。
- ・マイクの集音ホールの向きが口の方向を向いているか確認してください。

通話相手の声が聞こえない・・・

- ・スピーカーボリュームダイヤルで音量を上げてみてください。
- ・ヘルメットスピーカーとB+COM本体が正確に接続されているかを確認してください。

走行すると最大ボリュームでもノイズできちんと聴こえない・・・ 耳の上・外側が押されて、耳が痛い・・・

停車中はきちんと聞こえても走ると音が聞こえづらい場合や、耳が痛い場合は以下を確認・お試しください。

・スピーカーと耳は大きな隙間なく正しくフィットしていますか？

耳とスピーカーの隙間に空間があると、ボリュームを上げてても正しい音量・音質で聴くことができません。付属のスピーカー固定用調整パッドでスピーカーが耳にフィットするように耳とスピーカーの隙間を調整してください。

・スピーカーは耳の中心に合うよう正しい位置に固定されていますか？

耳の中心とスピーカーの中心が正しく合っていないと、ボリュームを上げてても正しい音量・音質で聴くことができないばかりか、大抵の場合、耳の上下付近になり耳の軟骨を押して耳が痛くなる場合があります。ヘルメットを被った時に耳の中心に来ようスピーカーの位置を調整して固定してください。位置の目安としてはストラップの付け根付近に寄せるようにし、実際に被って音楽などを聴きながら微調整してください。

※「Bluetooth」機器の機種によっては、その特性・仕様・設定・使用状況等により、操作方法が異なる事や、動作が限られたり、不安定な状態、プログラム通り機能しないなど正常に動作ができない場合があります。

1. はじめに

2. B+COM 同士の
接続・通話

3. デバイスの
接続・聞き取り

4. その他